

## 上級生の次姿を想像

新座市立池田小5年

板鼻 千尋 11 (新座市)

「何だろうこの文字？」ただ今、教室の大掃除をしている真っ最中。机と椅子をひっくり返して、脚に付いているホコリなどのゴミを取っていた。すると座る面の裏に、白いチョークで「〇〇△△△」と、大きく名前が書いてあった。〇〇さんなんて自分の学年にいないし、もちろん落書きなどするはずがない。ふと、掃除の手を止めて、この椅子に座っていた〇〇さんはどんな人だったのだろうか想像してみる。大きい字で自身の名前を記すくらいだから、元気で休み時間にドッジボールをして遊んでいる姿が思いついた。

作業を再開すると、上級生が使っていたという形跡が他にもあった。ロッカーの絵置き場にまきおれて、解いたと思われる算数プリントが出てきた。すっかりおぼれちゃった、この教室で過ごしていたのかと思いつくと、少し心が痛くなった。

4月からは最高学年になる私。卒業生から引き継いだ池田小の文化と伝統を大切に扱い、未来のまだ顔を知らない下級生たちに残していきたい。